

## 学校経営方針

江戸川区立平井西小学校  
校長 井上典子

### 1 はじめに 「学校は、子どものためにある」

学校は、子どものためにあります。学校は、子どもがより良く伸びていくところです。子どもが、自分の出せる力を精一杯出し限界に挑戦するところです。学校の子どもたちには次のことがなければなりません。

明るい笑顔  
豊かな関わり  
確かに学ぶ姿

私たち学校職員は、心を一つにして子供たちのために精一杯力を尽くしていきましょう。子どもが自分の良さに気付き、自信をもち、未来を拓く「生きる力」を育てるために、私たち教師も学び続ける必要があります。

平成 23 年度の新たなスタートを迎え、子どもたちの人間として調和のとれた育成を目指して、私たちは「子どものために」という視点と情熱で取り組んでいきましょう。

共に学ぶ子ども、共に学ぶ教師集団、地域・保護者と共に歩む学校、それが「共育・共学・共生」の平井西小学校です。

- 教育とは、流水に文字を書くような果てない業である。だがそれを、岸壁に刻むような真剣さで取り組まねばならぬ。(森信三)
- 教えることは希望を語ること、学ぶことは誠実を胸に刻むこと。学問とは長い長い忍耐。(ルイ・アラゴン)
- 教育とは人間に課することのできる最も大きく難しい課題である。(カント)

### 2 学校の教育目標

- やさしい心 命を大切にできる子 思いやりのある子
- じょうぶな体 進んで外で遊ぶ子 めあてをもって運動する子
- ◎ かんがえる力 自ら学び考え表現する子 言葉を大切にする子

- \* 三つの目標は不可分のものとしてとらえ、知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな子どもの育成を目指します。
- \* 本校の教育活動は、この教育目標の具現化のために行われるものであり、全職員が前向きに、熱い思いをもって進めることで、初めて実現するものです。
- \* 日々の教育活動が、平井西小学校で学ぶ子どもにとって充実したものであるように努めます。

### 3 目指す学校像

- 子どもたちが笑顔で通う学校
- 豊かな言葉で豊かな心が育つ学校
- 学校・保護者・地域とが手を携え、子どもに夢をはぐくむ学校

### 4 目指す児童像

- じぶんのよさを ひからせる子
- みらいに ゆめを もつ子
- にっこり えがおで あいさつする子
- しずかに 学ぶ子

### 5 学校経営の基本方針

#### 1 平井西小学校の教師としての基本姿勢

- ① 加点的な指導に心がけ、子どもに自信と自己肯定感を育てます。
- ② 教師は子どもとのふれあいに心がけ、子どもの側に立った受容的態度に努めて、児童理解を深めることを大切にします。
- ③ あらゆる教育活動を通して人権教育を進めます。今年も「人権の花運動」に参加します。いじめは絶対許さないという強い決意の下、いじめや偏見、差別のない温かい人間関係を醸成します。
- ④ 平井西小すべての教師がすべての子供の担任です。学級、学年、専科の枠を超え、平井西小学校の全職員が協力して、みんなで子どもを育てます。
- ⑤ 教育は、サービス業ではありません。教師は、深い見識と研修を積んだ総合職であり、専門職です。教師のプロとして、自信と誇りをもって指導に当たります。同時に子どもや保護者の声には、きちんと耳を傾け、適切な指導助言に心がけます。
- ⑥ 平井西という地域のすばらしさを、教師一人一人が理解し、地域を愛する子どもを育てましょう。保護者・地域の方々からの協力を積極的に仰ぐとともに、私たち職員も進んで地域に出向き、行事に参加しましょう。
- ⑦ 常に子どもに愛情を注いで、最善を尽くす努力をします。

○ 教師は四者たれ（教師は四者でなければならない、とされています）

1 医者たれ 2 易者たれ 3 役者たれ 4 学者たれ

皆さんは、何が特に大事だと考えますか？ 私は、「易者」だと思います。

その訳は…？

#### 2 達成のための手立て

##### ① 楽しくて よくわかる授業をする。

よくわかる授業は、子どもにとって楽しい授業です。授業が楽しければ、学校も楽しくなります。楽しくてわかる授業をすることは、教師としての責務です。

- ・ 実態に合った指導計画を立てる → 週案の作成と提出（週案簿に児童の問題点や行動の記録、成長の跡などを記録して校長に知らせることが大事です。）
- ・ 指導と評価の一体化（評価とは評定ではありません。子どもを価値づけて行くことが評価の大事な働きです。また、次の指導・支援の資料となります。）
- ・ 柔軟な指導法を工夫する → 学年内の交換授業 学年内専科体制 協力授業  
学年合同授業 ゲストティーチャー授業  
体験的授業 学校の外で実地に学ぶ学習など
- ・ 新学習指導要領を踏まえ、指導の充実を図る。
- ・ 各教科の基礎基本を押さえ、めあての明確な授業を行う

## ② 保護者との信頼関係を育てる

- ・ 情報発信 → 学年だより、学級だより HP を利用して、子どもたちの活動の様子を積極的に発信し、共に育てる姿勢を作ります。HP は、人権上と個人情報に配慮した発信をします。
- ・ 安心・安全の学校 → 子どもたちの安全に配慮し、安全な環境整備に努めます。大災害や予想できない危機に対しての対応を教職員と共通理解し、子どもたちの安心・安全を守ります。

## ③ 学習の土台としての3つの習慣作り

- (1) 家庭学習 習慣化することが大切です。低学年は、保護者の協力を仰ぎ、家庭学習が、親子のふれあいの時間になるよう働きかけてください。年3回の家庭学習キャンペーンは、大事な強化期間とします。
- (2) 生活リズム 「早寝・早起き・朝ごはん」を基本とし、就寝時間やテレビ視聴時間、等を意識づけます。年4回の生活リズム調査を実施します。
- (3) 読書 校内研究と共に、今年も読書活動を進めます。授業や読書タイムだけでなく、日常的に読書に親しむことができるように全校で取り組みます。

## ④ 常に学び続ける教師であること

- ・ 若い教師はベテランから、ベテランは若い教師から互いに学び合うものがあります。課題意識をもち悩むことこそ、学びへの第一歩です。優れた教師は常に学び続けます。
- ・ 自分の専門性をもち、それを磨き、教師のプロとしての自覚を高めましょう。
- ・ 積極的に外部の研修会に参加し、学んだことを還元しましょう。学校は忙しいところです。忙しい時、大変な時こそ、外部の研修会に出向くと、大きなヒントを得たり、視点が変わったりすることがよくあります。
- ・ 授業を積極的に公開し、互いの授業の質の向上に努めます。

## 3 校内研究について

平成23年度は、江戸川区研究奨励校の研究発表の年です。子どもたちのよりよい成長と学力向上のために、また私たち教師の授業力向上のために、「本は友だち！読む楽しさ、知る喜びを育てる読書活動西っ子プラン」を研究主題に、今年も一丸となって研究を進めます。研究で実践したことは、一人一人の財産となり、平井西小の文化になると考えます。

- ・国語科の授業改善。
- ・読書に生きる国語科の「読む」の力の育成→「読み」の質を変える授業
- ・読書環境・言語環境の充実 → 環境部を中心に
- ・読書活動の単元開発と紹介活動の工夫 → 今年の研究の中心
- ・読書活動年間計画「西っ子プラン」の作成

「子どもにとって、教師にとって、保護者にとって、研究してよかった」と言えるものを目指して力を尽くしましょう。

## 6 教育目標具現化のための具体策

### 1 「やさしい心」を目指して

- ・豊かな言葉でやさしい心を育てる。 言語環境の充実と読書を通して培う。
- ・「あいさつ運動」の推進。 校内・家庭・地域でお互いが笑顔になるあいさつを。
- ・たて割り班活動の工夫。 主体性と思いやり 人間関係を育む たて割り班の全校遠足。
- ・5,6年生全員によるマーチング活動。 高学年の自覚と自信 下学年の憧れと目標  
地域貢献と地域の期待 地域を愛する心を育てる。
- ・道徳授業地区公開講座を通し、保護者の協力を得ながら学校と保護者が同じ考えの下に子どもの心を育てていく。

### 2 「じょうぶな体」を作るために

- ・登校時刻を早めて（8時15分までに登校する）、朝、体を動かす習慣を薦めます。
- ・なわとび、持久走など季節に応じた体育的活動の日常化を図ります。
- ・生活リズムの定着と食育指導の充実を通して心と体の健康づくりを進めます。
- ・体育の授業を充実し、目当てをもって最後まで努力させるよう努めます。

### 3 「かんがえる力」を育てるために

- ・校内研究の充実で、授業力を高め、楽しくてわかる授業で、学力の向上を図る。
- ・読書を通して豊かな語彙を育てる。豊かな語彙は思考力につながります。
- ・本との出会いの楽しさ、読書の楽しさを味わわせ、読書紹介活動などの言語活動を通して、自分の考えをもち、伝え合う活動を大切にします。
- ・「書く」ことを重視した読むことの授業開発で、思考力を育てます。
- ・国語科で育てた言語力がすべての教科の学びを支え、言語活動を充実させます。
- ・根拠を明らかにして話し合う学習を積み重ね、筋道立てて考え伝える力を育てます。
- ・算数少人数学習で、確かな理解と数学的思考力を育てます。

### 平井西小学校を子どもたちの心のふるさとに

愛情いっぱい先生とのふれあいが、大切な思い出・人生の指針となることを忘れずに。  
特色ある教育活動が、子どもたちの自慢となり、心のよりどころとなるように。

5,6年生全員参加型マーチング たて割り班活動 読書活動 あいさつ